



第三地区

今年、第三地区では46名の方が成人されました。その中から5名の方に心境や抱負をお聞きしました。



寺島 迅之助 (東源池)

私は現在親元を離れ愛知県の大学で一人暮らしをしています。日々育士の勉強をしています。

の学びの中で現代の家庭は昔に比べて多様であり、様々な問題を抱えている親子が日本に多くいることを知りました。自分

とても恵まれており、20年間無事に成長し今も大学で学ぶことができるのは家族のお蔭である、改めて自分を支えてくれた人達に感謝しています。20歳になり自分の行動にさまざまな責任がついてくると思いますが、今の自分に満足せず常に学び成長していくことを心掛け、これからの日々を過ごしていきたいです。そして子育てに不安や問題を抱えている人たちを支えるという形で、社会へ恩返ししようと考えています。

塚原 佑衣 (四ツ谷東)

20歳、大人として認められる人生の中でも大きな節目。そして私は4月からホテルで働くことが決まっています。以前の私はちゃんと仕事をこなせるのかという不安と、学んだことを実践できるという期待とが入り交じっていました。しかし、成人式を迎えた今ではそんな感情も

全て引くくめて「未だ見ぬこれからが楽しみだ」と言えます。その気持ちを土台に仕事に励み、そして大人になる自分を祝福してくれた家族や支えてくれた人たちへの感謝と敬意を忘れない、大人としての人生を歩んでいきたいです。

降旗 晃希 (四ツ谷東)

私は、4月から愛知県でシテムエンジニアとして働き始めます。私がここまで来られたのは、家族をはじめ学校の先生など多くの人に支えてもらったからです。思えばこの20年間で様々な人達に出会い、助けられて来ました。そしてその人達と出会えたからこそ、今の私があるのだととても感謝しています。だからこそ、私は人との繋がりがとても大切だと思っています。

酒井 知春 (日の出町)

私は高校卒業後松本市を離れて、市外に進学し、一人暮らしを始めました。一人暮らしをし家事を自分でこなすことで、両親の大切さに気づくことができ

ました。また、社会で暮らしていく大変さを実感することができました。この度成人式を迎え、私も大人の仲間入りをしました。この機会にたくさんの方とを学び、自分自身をさらに成長させていきたいと思っています。最後に家族や友人など様々な人たちに支えられ、この度無事に人生20年の節目を迎えることができたことを深く感謝いたします。

上條 舜也 (県町南)

これまでの20年は人との出会いに恵まれた時間でした。協力して何かを成し遂げることの大切さを教えてくれた多くの友だちに味方として応援してくれた家族。今の自分は多くの人の想いに支えられている、そう考えると感謝の気持ちでいっぱいです。

成人の一員とはなりますが、まだまだ私は「人」と「成」るための道を歩み始めたばかりだと思っています。その道のりは平坦ではなく、時には進路を見失うこともあると思います。そんなときには今までに受け取った多くの人からの想いを誇りとし、一歩ずつ、前へと進んでいきたいです。今度は私の想いが人の支えとなる、その時を目指して。



2月、一年の中で一番短い月だ。他の月は30日か31日なのに2月は28日である。

これは、以前読んだ本では現行の暦の基であるユリウス暦は奇数月を30日、偶数月を31日とした。これでは、一年が366日となるため、ローマ時代は、一年の始まりが3月であったので、最終月の2月を29日にした。

その後、アウグストゥスが自分の誕生日である8月をアウグストゥスと改名して、30日だった8月を31日にするために、2月から1日を取って28日にした。と言う話だった。しかし最近の研究では、8月の日数は元々31日だったようだ。

さて、今年の2月1日は、旧暦の日付では、1月5日である(年によって違う)。このずれは、明治5年12月3日が改暦により、明治6年1月1日になったことが主だが、雛祭り、端午の節句、七夕、お盆等の行事は、新暦だと季節的に合わず、旧暦に近い月遅れで行うところも多い。しかし最近では地球温暖化の影響か、季節の進み方が早いようだ。季節も新暦に合わせてくれているのだろうか？

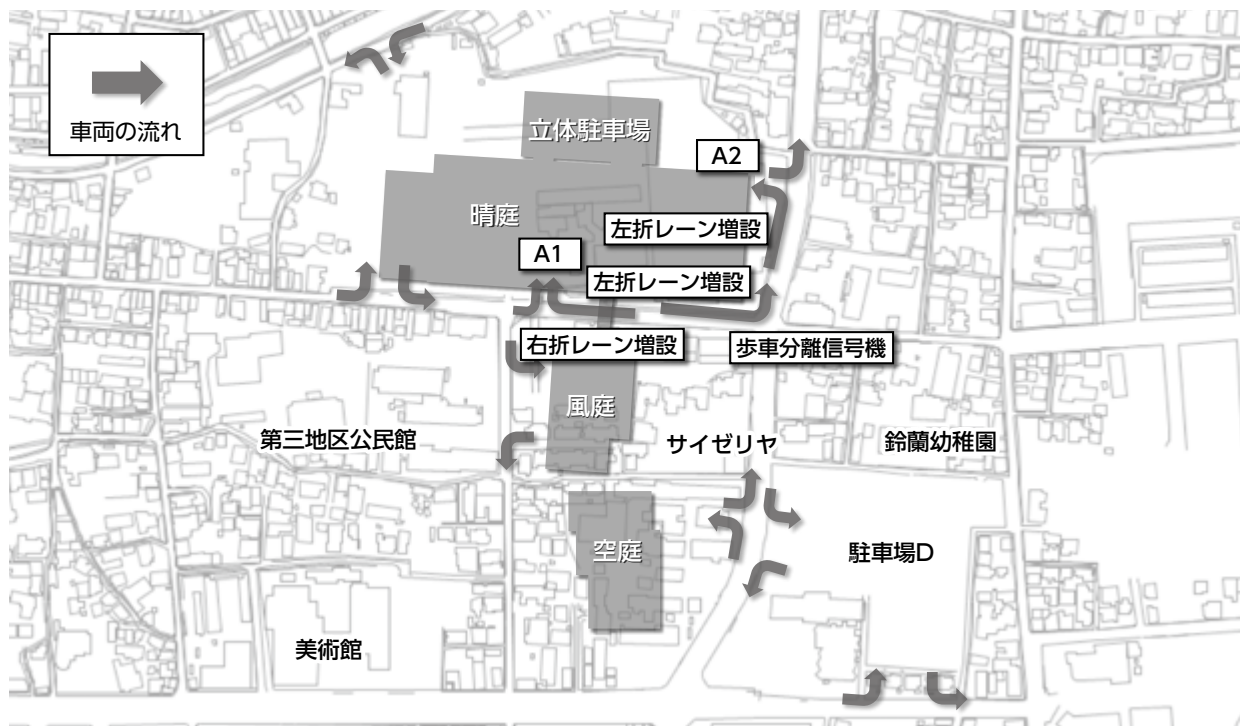
(海野 幸頼)

イオンモール松本の立地法説明会開催

11月25日、26日にあがたの森講堂において「イオンモール松本」の立地法説明会が開催されました。2日間とも近隣住民の方々が多く参加され、色々な質問がイオンモールや直接工事を行っている大林組・北野建設に対して出されました。建物の高さや駐車場、駐輪場の位置、道路の拡幅工事及び車の出入庫場所の説明がありました。当日示していただいた資料が細かいので、それを基に簡単な略図にしました。(地図参照)

東部交番の交差点は歩車分離式のスクランブル交差点になります。建物には北からそれぞれ「晴庭」「風庭」「空庭」と名前が付けられ、晴庭の出入口A1・A2に入る車が直進車を妨げないようにそれぞれ右左折のレーンがモールの敷地を利用して作られます。晴庭の南側と風庭の西側・北側も同様に、モールの敷地を使って歩道等が作られます。晴庭と風庭は上空通路で接続しますので、屋内での連絡が可能となるようです。主な駐車場は晴庭の平面と屋上、北側の立体駐車場、スマイルホテルの周囲のD駐車場等と合わせると合計駐車台数は2,052台となり、旧カタクラモールの約800台と比べ、概ね2.5倍の規模となります。駐輪場は833台が用意されています。なお、風庭と空庭の間の道は生活道路であり、高校生の通学自転車も多いことからモール敷地内に歩道を確保し、店舗利用者の車の流入はしないようにするそうです。しかし、日の出町から東に延びる道路については、モール敷地部分は歩道ができるものの、中央・県道の交差点に続く銀行の寮と東部交番の部分では歩道が途切れるため、八十二銀行と警察署、松本市に対して第三地区まちづくり協議会から歩道整備の要望書を提出しました。詳細を知りたい方は立地法の届け出書類が松本地方事務所、市役所商工観光課で3月17日まで閲覧できます。第三地区からイオンモールへ要望してきた渋滞対策については、可能なかぎり対応していただいています。

※第三地区地域づくりセンター作成。
建物の規模や形状、また、出入口の位置については正確ではありません。



年末年始に向けて公民館で行われた講座の様子です



12/27 お正月用
フラワーアレンジメント講座



12/23 しめ縄・お飾り講座



12/22 おせちを学ぶ講座